

やまちき通信

271号

12月20日現在

子ども会員：91人
正会員：37人
賛助会員：233人
27団体



秋のディーキャンプ



しりたがり.....	02
おとな塾.....	03
特集～秋のディーキャンプ～.....	04～05
鑑賞部～パパと娘～キナコちゃん～.....	06～07
クリスマスケーキをデコろう.....	08

やまもと かずこの 知りたがりやまとトーク

2025 も残りあとわずか、世間はなんとなくクリスマスムード? のようですが、呉市では今年、事務所前の公園でのイルミネーションはやらないことに決まったらしい。と残念に思っていたところ、数日前に、市民有志により点灯されることになったのだとか。呉のまちを盛り上げたいと思う若者が大勢いる、とうれしい気持ちになった今日この頃です。みなさまいかがお過ごですか?

YYY では、「新井武人アコーディオンライヴ STEP」を盛り上げてくれた高校生メンバーが再集結。ホールの練習室を借りて、「YYY のうた」のレコーディングに挑戦しました。まずはボーカルか



ら。最初はみんなで歌って声出し。元気いっぱい準備 OK ってことで、いよいよ録音に。てっきりみんなで歌うものとばかりと思っていたところ、そうではなく、一人ずつ順番に歌うのを録音して、音を重ねていくらしい。みんな大丈夫かな?って、全く要らん心配でした。やや緊張しながらも楽しそうに歌っていました。続く楽器も一人ずつ丁寧に録音。集まってくれた高校生がみんな優秀でほぼ一発録り。およそ 2 時間半でレコーディング終了。凄い!



なぜか毎年この時期になると、大きな災害が起こりませんように! というフレーズが頭の中でぐるぐるします。調べてみると、特に年末年始に自然災害が多いということは無いらしいのですが、一昨年の元日に起きた能登半島地震や来年で 31 年になる阪神淡路大震災のイメージが強いのだと思います。2026 はみんなが HAPPY な気持ちでスタートできるといいな、と思います。みなさんよいお年を!

赤崎神社の祭り

今月のおとな塾は、5年ぶりに堀口悟史さんを講師にお招きし、堀口さんが2022年に開催されたやぶ展の話を中心に“赤崎神社”にまつわるやぶ面の歴史について語って頂きました。

ここで皆さんに質問です。「呉の祭り」といわれると、真っ先に何を思い浮かべますか？多分、生糸の呉市民であれば、8割の方が「やぶ」と答えるんじゃないかなと思います。そんな私たちにとって、とても身近な「やぶ」ですが、実は1908年には存在していたらしいのです！へえ～でしょ！

なんでそんなことがわかるの？って思うかもしれません、それはある取材を通して堀口さんがたどりついた事実です。堀口さんは昭和32年～34年頃のやぶの写真と出会い、そこに写っていたやぶ面について調べ始めました。その中で「初代面」という言葉に行きついたのだそう。さらに調べていくと、この面の製作(彫ったわけではなく、製作依頼

12月11日(木)生涯学習センター507 参加者 15名



講師：堀口悟史さん

(堀口海運株式会社 代表取締役社長)



をした人)が1843～1908年までご存命で、まさかの江戸時代生まれということが判明。ですから、やぶは1908年には確実に存在していた、と言えるわけです。何ならこの文化は江戸時代から続いている可能性も…！？昔過ぎてピンとこないような時代にやぶがいたかもしれないこと、堀口さんのやぶ面との運命的な出会いにどこかロマンを感じました。

また、戦時中も祭りをしていた、というお話も印象に残りました。なんでも、八咫烏神社では終戦の年に2回もお祭りをしていたそう。日本人祭り好きすぎ～

最後になりますが、この講座を通して、私、呉市民なのに思ったより呉の祭りのこと知らないな！ということを感じさせられました。八咫烏神社とか初耳でしたし。次の秋祭りにはまだ行ったことのない神社に足を運んでみようかなと思います。

(文：110番 高2/フォト：わかめ 高2)



Nextおとな塾

豊かな子ども時代を保障する!を考える



【日 時】1月14日(木)19:30～

【場 所】YY事務所

【参加費】500円

※事前にお申込みください。



気持ちいい秋晴れの中スタート。合い言葉は「によつきい によつきい イエ~イ！」。最後の“イエ~イ”でハイタッチし、知らない子同士も一緒に距離が縮まりました。

最初の火起こしから順調で、あっという間に薪に火がつき、アカデミーの子どもたちは立派なかまドマスター。

芋トン団子汁作りでは、ゴボウ担当の子どもたちがピーラーで挑戦。最初はおそるおそるでしたが、1本むき終えればスピードも上がって達人のように。根菜は切るには少し硬いので、ちびっ子は皮むきやこんにゃくをちぎる作業。色々できるようになったので、みんなお家でお手伝いしてね！

団子はビニール袋でコネコネし、思い思いの形に仕上げました。しっかり煮たけど少し粉っぽかったため、「次はもっといい粉にしよう！」

レクリエーションは高校生リーダーによるしっぽ取り。作戦会議も白熱し、勝ちたかった気持ちから涙が出た子も。本気で走り切った後は、お楽しみのおやつの山分け。2チームでまったく違う分け方をしていたのが印象的で、盛り上がっていました。

今回一番の立役者は高校生！急なお願いにも笑顔で対応してくれ、場を盛り上げて子ども達を笑顔にしてくれる頼もしい存在でした。若いパワーのありがたさを感じた一日でした。 (あべ)





チーム対抗しつぽ取りゲーム!



11月23日(日)つつじが丘キャンプ場 参加者およそ70名

初参加、初スタッフの今回、とても緊張していました。ですが周りのみなさんが色々声をかけてくれ、いつの間にかそんなことを忘れるくらい子どもたちと一緒に楽しんでいました。

ちょっと手順を説明しただけで、子どもたちは自分で考え、動いていました。刃物や火を扱うので危険です。子どもたちが安全にたくさんの経験をするには、私たちが十分に注意しておく必要があると思い、特に気をつけていました。誰も怪我なく、美味しい芋トンコツを作ることができて良かった～。子どもも大人も、あったかい団子汁を食べて笑顔になっていて、みんなでひとつのものを作る楽しさを実感。一緒に食べることでより楽しく、よりおいしくなるということも。

「このデイキャンプで、ご飯を作るお手伝いができるようになる！！」と言っていた子がいましたが、私も成長したと思います。今回はわからないことも多かったけど次は大丈夫！もっと積極的に私自身楽しみ、子どもたちにも楽しんでもらえるように頑張りたいと思っています。

(高2 あかり)

つつじが丘に着いた途端、目に飛び込んで来たのは紅や黄色に染まった木々。先日まで猛暑だったと振り返り、ホント秋になったな～としみじみ。平谷線工事のため二河峠でいも煮会ができなくなって3年。二河峠でやっていた焼き芋のかわりに、今年は火遊びの場をつくることにした。大鍋2つ分の竈だと、薪割も火起こしできる人数も限られる。そこで飯盒でゆで卵をつくることに。子どもたちは火が大好き。竈のまわりにやってきては薪をくべたり火ばさみでつづिऄり。小さい人達はマシュマロ焼き。その場にいれば火が熱いこと、油断すると危ないことも実感するだろう。見守ってくれたのは頼れるベテランの青年たち。出会った頃は小学生だった彼らが、今なお関わってくれ、色んな世代が交流していくことにYYYの歴史を感じ、意義を感じた。

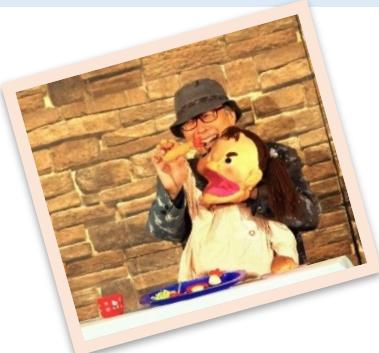
(子ども活動部 久保直美)



わたしと娘と孫とキナコちゃん



YYYが初めて「キナコちゃんとダンス！！」に取り組んだのは1999年。「音羽事件」がきっかけでした。当時は子育て支援が言われ始めた頃で、子育てに悩む母親の孤立した状況がクローズアップされたこともあり“お父さんの子育て参加”というテーマで取り組みを進めたのだそうです。あれから26年、共働きが増え、育休をとるお父さんもチラホラ。一方でシングル家庭は増加、ワンオペ育児なんて言葉も。こども家庭庁が創設され「こどもまんなか」が掲げられていますが、子育ての悩みは、どうなっているのでしょうか。YYYは今回も、子どもたちから大人気のこのお芝居を企画しました。一緒に観てください。楽しんでください。そしてパパもママもジジもババも、一緒に子どもたちのことを考えたいと思います。



私が「キナコちゃんとダンス！！」に出会ったのは、娘が小4と小1の2005年。娘たちがどんな表情で、人形劇を観ていたのかまったく記憶に残っていない。そのくらい私自身が舞台に没入していたのだろう。人形なのに「うわあ！ホンマに給食食べよう！」って思ったことを強烈に覚えている。帰り道では、「ニンジン目！」「エビフラ～イ、エビフラ～イ！」と、興奮冷めやらぬ様子の娘たちと一緒にキナコちゃんの真似！元気でおしゃまでわがままなキナコちゃん。そして、愛しい。

孫が初めて「キナコちゃん」に出会ったのは3年前、2歳の時。お膝に抱っこでママと一緒に鑑賞デビュー。わけわからんのか？？だけど、周りの雰囲気がそうさせるのか楽しそうに舞台を見入っていた。

後日、髪を結んでもらって、鏡を覗き込み「♪可愛いいいだけじゃダメですかあ～♪」と、歌って踊っている姿を見た時にやあ「まさにキナコちゃん！」。ドレスもティアラも大好き。



来年2月の公演は、孫にとっては2回目のキナコちゃん体験。5歳になった彼女はどんな反応をするのだろう。さらに2歳になったおしゃべりな妹も一緒に参戦。同じ作品でもその時の年齢や気分で、見方が変わる。3世代で見る人形劇、それぞれがどんな風に見て受け止めるのか？ドタバタな一日の終わりに、子どもの寝顔を見て、あなたはどんな思いをよせますか？
(鑑賞部 しるこ)



キナコちゃん終了後
カフェ KINAKO
15:00 OPEN!
3F 中会議室

*お芝居観た後はスイーツを食べながら、
ワイワイガヤガヤおしゃべりしましょ♪



心も身体もあったかくなる
コンサート



パパ vs 娘

この子は僕の宝物

生まれてきてくれてありがとう♡
どの子よりうちの子が一番
かわいいぞ!!



初めて、しゃべった言葉は
「ママ?」「パパ?」
実は「じいじ!」



お風呂はパパとの
おしゃべりタイム



できること
いっぱい増えて
「うちの子天才!」



人見知り
顔見て大泣き ハハしょんぼり
僕はどうすればいいんだ!

ピッカピカの1年生
玄関で見送るランドセル
友達できるか?そわそわドキドキ…

だっこ!だっこ!

部活に塾にすれ違い
声をかけても、「べ・つ・に」
そつけない返事に、パパがっかり…

肩ぐるま大好き!
パパカッコイイ!!

参観日も運動会も見に来てね



「まだ帰ってないのか!」
「誰と電話してるんだ」

あ~うっとうしい!
面倒くさい~

社会人デビュー
ちゃんと働いている??

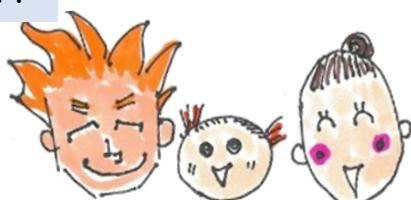


意味もわからず
パパ嫌い

なんか臭い
いっしょに洗濯
しないで~



晴れの日の娘のあいさつ
うれし涙か?悔し涙か?



車での送り迎えはパパの役
アッシーと、わかっていても
うきうき♪♪出番だ



人形芝居ひつじのカンパニー

キナコちゃんとダンス!!

2026年2月15日(日)

①11:00 ②14:00

北村直樹と人形のキナコちゃんの二人芝居

お母さんがいない日の キナコちゃんとお父さんの一日を
笑いと笑いと…。一瞬たりとも目が離せません。

1999年の初演以来、地方公演など中
心に約600ステージ、7万人が鑑賞。
舞台を観た多くのお父さんをホロッと
させた作品です。



クリスマスケーキをデコろう!



トレイに並べられた色とりどりのお菓子。子どもたちはデコ券と引き換えに、自分が飾りたいと思ったものを選ぶ。この瞬間から楽しい時間。「目が輝く」を写真に撮るなら今！どの顔からもエネルギーがあふれ出している。事前に買い物に行った時、子どもたちの様子を想像しながら、カラフルで、おいしそうで、そしてかわいい形、工夫して使えそうなものを選んできたつもりだった。だからそんな顔を見て、大満足だったのだが、それでもまだまだ。それを使うか！と驚くことだらけ。子どもたちの想像力・創造力には毎回驚かされるし、それがとっても楽しい。飾ったはしから食べているチビッ子もいたけど、我慢ができないくらい美味しいそうってことで(笑)

今回は、椅子やお皿など自分で使うものはなるべく自分で用意してもらった。自分で出したものは自分で片付けられるからだ。使ったものは元に戻す。これも大切なこと。楽しい時間を過ごすときにさりげなく散りばめておこう。

(くぼ)



飾りの種類が多くて、色々選べるのが楽しかったです。自分が作りたいものを何でどうやって作ろうか、どこにどう飾るかなど、思っていたよりも奥が深かったです。他の人の作ったケーキを見てまわると、自分が使ってないものを使っていたり、意外なものができていたりして、とても感心しました。作っても、見ても楽しめてとてもおもしろかったです。(16才 しほ)



■発行日:2025年12月25日(毎月1回発行) ■発行責任者:米本美千恵

■発行元:特定非営利活動法人 吳こどもNPOセンターYYY 〒737-0051 呉市中央3丁目 11-12PANビル3F

■連絡:0823-24-5646 ■WEB:<http://kure-yyy.org>